30th

JCI HITACHINAKA
ANNIVERSARY

Dream&Smile

～夢と笑顔溢れるまちへ～

JCI
Junior Chamber International Japan
一般社団法人 ひたちなか青年会議所

〒312-0045 茨城県ひたちなか市勝田中央14−8ひたちなか商工会館4F
TEL:029-276-5250　FAX:029-276-5251
https://jci763.or.jp

30th

Anniversary

Junior Chamber International HITACHINAKA

Dream&Smile

～夢と笑顔溢れるまちへ～

一般社団法人 ひたちなか青年会議所

30周年記念誌

一般社団法人ひたちなか青年会議所
30周年記念式典次第

ー次第ー

開会宣言

国歌斉唱

JCソング斉唱

JCIクリード唱和

JCIミッション並びにビジョン唱和

JC宣言文朗読並びに綱領唱和

関東地区宣言唱和

いばらきJAYCEE宣言唱和

理事長挨拶

直前理事長挨拶

来賓挨拶

ひたちなかJCシニアクラブ会長挨拶

来賓並びに来訪JC紹介

OBOG紹介

歴代理事長紹介

感謝状贈呈

JCIひたちなか30周年中長期ビジョン発表

創立宣言文

常陸那珂地区開発が発展する今、私たち市民が共 に街づくりをし、論じ合い、行動を起こす必要が あることを肌で感じ、街の行動する政策集団とし てのJCの役割が求められています。そして過去 の歴史、そこに流れる運動の理念を正しく理解し、21世紀へ向けての那珂大地を創造することがで きるか、時代の魁たる団体として、変革の能動者 たる青年として、活躍することを誓い、ここに社 団法人ひたちなか青年会議所の創立を宣言いたし ます。

10周年宣言文

時代を切り拓く者としての尊厳ある「誇り」を胸に 那珂大地はひとつから始まる理念のもと地域の限りない発展と 全ての主体が協働する市民社会の実現を望み 魅力溢れる地域の創造に向かって 行動することを宣言します

20周年宣言文

「那珂大地は一つ」の理念のもと 変革に挑む覚悟と東日本大震災の教訓を胸に刻み 更なる広域連携を先導し 人と自然と音楽が響きあう 夢と笑顔溢れる地域 (まち) の創造に向かって 行動することを宣言する

JCソング

JC JC JC

世界を結ぶ 若き団結(ちから)

新しき世紀の(よ) 希望(のぞみ)となりて

永遠に(とわ)繁栄(さか)えん

我等の集い

JC JC JC

奉仕の理想 探求(もと)めつつ

祖国(くに)の進歩の 力(あゆみ)となりて

先駆けゆかん 我等の集い

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
And That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI MISSION

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する

JCI VISION

To be the foremost global network of young leaders.

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを 先導する組織となる。

JC 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱　領

我々JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

関東地区宣言

わたしたちは
日本の礎として
あらゆる未来をみつめ
多様性溢れる仲間と共鳴し
新たな価値の創造により
新時代の旗手となることを誓う

いばらき JAYCEE 宣言

いばらきの青年会議所は
多様な新時代を見据え
信頼し合う仲間と共に成長し
1人ひとりが革新の核となり
「持続可能ないばらき」に挑戦する

目次

理事長挨拶

「お祝いの言葉」

茨城県知事

ひたちなか市長

那珂市長

東海村長

ひたちなか商工会議所会頭

株式会社ロッキング・オン・ジャパン渋谷社長

公社）日本青年会議所 会頭

公社）日本青年会議所 関東地区協議会 会長

公社）日本青年会議所 関東地区協議会 茨城ブロック協議会 会長

姉妹JC（一社）石巻青年会議所 理事長

友好JC（一社）真岡青年会議所 理事長

ひたちなかJCシニアクラブ 会長

記念事業紹介

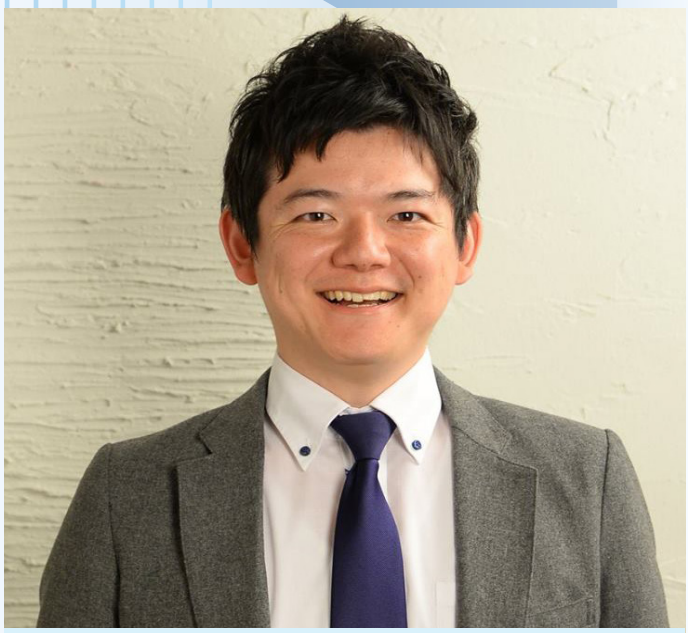
TEENS ROCKの歩み

30年の歩み

会員紹介

特別会員紹介

協賛企業一覧



理事長挨拶

一般社団法人ひたちなか
青年会議所第30代理事長
藤田　康広

遡ること30年前、1994年に一般社団法人ひたちなか青年会議所は、日本初の社団法人合併により設立されました。24年間の社団法人那珂湊青年会議所による歴史と、23年の社団法人勝田青年会議所の歴史が統合される、それも那珂湊市と勝田市の合併に1年先駆けて行われたものであることは、大きな話題を呼びました。それから10年、20年を経て、今30年という節目の時を迎えています。我々の活動に対し多大なご理解ご協力を賜りました地域の皆様、行政関係者、関係諸団体の皆様の御厚意と、歴史を紡いでいただいた先輩諸兄姉のご尽力に深く御礼を申し上げます。

ひたちなか市、那珂市、東海村を示す「那珂大地」は、東日本大震災を経て一層変動の時を迎えています。常陸那珂港の整備が進み、北ふ頭と中央ふ頭の供用が開始されて北米・北海道の定期便が行き交っています。北関東自動車道を運ばれてきた自動車が広大な港に敷き詰められる様は、地域経済の期待感を抱くのに十分な光景です。

一方で、新型コロナウイルス感染症や近年頻発する集中豪雨・台風による被害が、私たちの活動にも大きな影響を及ぼしました。継続事業であったキャンプビレッジ事業や、ティーンズロック事業の事業中止や形態変更を迫られました。そのような中にあって、青年会議所の持つ公益性が活きる場面もありました。地域の社会福祉協議会との災害協定を締結し、2019年の台風19号による浸水被害の際には、早速協定に基づいたボランティア活動を実施しました。社会福祉協議会との連携は毎年続けられており、災害時に求められる団体としての信頼感を今後とも構築してまいります。

本年度、創立30周年を迎えるにあたり、一般社団法人ひたちなか青年会議所が新たに目指すべき指針として、「ひたちなかビジョン2023」を策定いたしました。運動の柱としてきた「まちづくり」「ひとづくり」「組織づくり」という3本の柱を軸に、地域社会の課題を時代に先駆けて解決することで、那珂大地に住み暮らす一人ひとりが輝ける持続可能なまちを目指し、青年会議所運動を展開してまいります。

結びになりますが、創立以来、ひたちなか青年会議所にいただきました御厚意に改めて感謝を申し上げるとともに、これからもご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

【スローガン】

知行合一

【将来像】

地域や職場、家族が誇りに思う団体へ。

【基本理念】

ジブンゴトを改善して 地域に前向きな変化を

【基本方針】

A　これまでの歩みに感謝し　これからを共に考える
B　地域の需要に応え　次世代が魅力と可能性を誇れる地域の創造
C　JC活動の幅広い可能性と様々な機会を通して　参加意欲を向上させる
D　立場や環境に応じたジブンJC活動を考え　持続可能な組織をつくる

茨城県知事

大井川　和彦

この度、一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴会議所におかれましては、1994年の創立以来30年の長きにわたり、日本青年会議所の理想である「明るい豊かな社会の実現」に向け、まちづくりや青少年の健全育成、人材育成などに積極的に取り組まれ、地域社会の発展に大きく貢献してこられました。
これもひとえに、藤田理事長をはじめとした歴代の役員、会員の皆様方のご尽力の賜であり、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進展する一方、世界的な物価高騰や急速な人口減少による国内経済の規模縮小など、私たちは、まさに激動の「非連続の時代」の只中にあります。この時代を乗り越えるため、私たちには、常に挑戦する気概を持ち、自ら考え、未来を切り拓いていくことが求められております。

県といたしましては、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」を基本姿勢として、困難な課題も先送りすることなく「新しい茨城づくり」に全力で取り組んでまいります。

地域の若きリーダーである皆様方におかれましても、引き続き、青年ならではの柔軟な発想や行動力を活かして、県民の皆様が未来に希望を持ち、自身のなりたい自分像に向けて挑戦し続けられる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現のため、ともに地域課題の解決に挑戦していただきますようお願い申し上げます。

結びに、創立30周年を契機とした一般社団法人ひたちなか青年会議所の益々のご発展と、会員の皆様方のなお一層のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

ひたちなか市長

大谷　明

一般社団法人ひたちなか青年会議所が、創設30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

ひたちなか青年会議所におかれましては、「那珂大地は一つ」のスローガンのもと、勝田市と那珂湊市の合併に先行して、平成6年6月に2市青年会議所が統合・設立されて以来、地域のリーダーとして若者らしい柔軟な発想と行動力で、従来の市町村の枠にとらわれず、住民の融和や広域的な地域社会づくりに大きなご貢献をいただいております。

これもひとえに、歴代理事長をはじめとした会員の皆様のたゆまぬご努力、チャレンジ精神の賜物であり、深く感謝と敬意を表する次第であります。

また、ひたちなか祭り実行委員会への参画をはじめ、高校生のロックの祭典「ティーンズロック」の開催など、地域の活性化にご尽力をいただいておりますことに、改めまして御礼申し上げます。

本市では、「ひとが咲くまち。ひたちなか」をキャッチコピーに、将来にわたり多くの方が自分らしい花を咲かせ、いきいきと活躍できる魅力的なまちであり続けるため、さらには多くの方から「選ばれるまち」となるため、様々な施策に取り組んでおります。

今後とも、皆様方には、地域社会の発展に努められますとともに、引き続き本市のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ひたちなか青年会議所のさらなるご発展と、会員各位のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしましてお祝いのことばとさせていただきます。

那珂市長

先崎　光

このたび、一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。

ひたちなか青年会議所は、ひたちなか市が誕生した平成6年、21世紀に向けた那珂大地の創造という崇高な志に基づき創立されました。以来30年間、修練・奉仕・友情の三つの信条の下、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、多くの人材を輩出するとともに、地域社会の活性化に貢献してこられました。これもひとえに、歴代理事長をはじめ会員の皆様方の熱意とたゆまぬ努力の賜物であり、深く敬意を表します。

さて、私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少や高齢化の進行に加え、気候変動により激甚化する自然災害、さらにはAI技術の飛躍的な進化など、かつてないスピードで大きく動いています。こうした中、次世代を担うひたちなか青年会議所の皆様が、会員相互の連携と変化を恐れない行動力をもって果敢に挑戦し、地域の活力向上に寄与されていることは、たいへん心強いところでございます。今後とも、地域をけん引する若きリーダーとして、ご活躍されますことをご期待申し上げます。

結びに、ひたちなか青年会議所がこの輝かしい創立30周年を契機に、より一層のご発展を遂げられますことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

先崎　光

東海村長

山田　修

一般社団法人ひたちなか青年会議所が、創立30周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げたいと存じます。

また、長年にわたり、社会貢献活動をはじめとして、地域の活性化に積極的に取り組んでいただきました会員の皆様に対しましても、改めて、敬意と感謝を申し上げます。

特に、「TEENS　ROCK」は、ひたちなかJCにとって大切な事業だと思われますが、今年で20回目を迎え、音楽を通した若い世代のチャレンジを後押しするという点においても大きな成果をあげていると感じております。まさに、後世に繋いでいくシンボリックな事業となりました。これから10年先、20年先と次世代へ継承されることを期待しております。

アフターコロナにおいては、これまでの活動に工夫を加えながら、新しいチャレンジが必要になってくると思われますが、そうした中で、ひたちなかJCの存在感はますます大きくなっており、今後とも、「那珂大地はひとつ」の理念の基に、更なる地域の発展を目指して活動していただきますよう願っているところであります。

結びに、創立30周年を迎えた一般社団法人ひたちなか青年会議所の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、お祝いの挨拶といたします。

ひたちなか商工会議所会頭

柳生　修

一般社団法人ひたちなか青年会議所設立30周年、誠におめでとうございます。

未来のひたちなかを担う皆様が、社会奉仕活動・地域貢献活動に積極的に関わられ、次世代のリーダーとしての資質向上や、相互の友情・連帯を深められておりますことは大変心強く感じるとともに、歴代の役員・会員の皆様の永年にわたるご尽力に対し、心より感謝と敬意を表します。

昨今の我々を取り巻く環境は、コロナ禍をはじめ、想定外の自然災害や国際紛争に起因する物価・燃料費の高騰、少子高齢化社会への対応など厳しさを増し、先行き不透明な状況が続いています。とりわけ、コロナ禍は我々に様々な困難を与えましたが、一方では、オンライン会議の導入やデジタル技術の活用による生産性向上、ビジネス変革などへの取組みを加速させるきっかけとなりました。

こうした中、当商工会議所としましては、変化をチャンスと捉え、ビヨンドコロナに向けてデジタル化の推進や事業環境の変化への対応支援など、持続可能な地域づくりと経済再生に全力で取り組む所存でございます。

貴青年会議所におかれましても、藤田理事長のもと連携を深められ、新しい時代を切り拓く一層の勇気と情熱を持ち、積極的な活動を展開されるものとご期待申し上げます。

最後になりますが、貴青年会議所の益々のご繁栄・ご活躍を心からご祈念申し上げ、私の祝辞とさせていただきます。

株式会社ロッキング・オン・ジャパン
代表取締役社長
渋谷　陽一

一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

2000年に国営ひたち海浜公園で始まったROCK IN JAPAN FESTIVALは、ひたちなか青年会議所の皆さんが2004年に始めたTEENS ROCK、2005年に始めたCAMP VILLAGEとともに、ひたちなか市をロックの街として盛り上げるべく、協力しながら歩んできました。
全国の高校生がROCK IN JAPAN FESTIVALのステージを目指す場と、参加者がフェスの後にも楽しめて宿泊需要に応えるインフラの創出は、ROCK IN JAPAN FESTIVALとひたちなか市の強固な連携の象徴になりました。

ROCK IN JAPAN FESTIVALは2022年より会場を千葉市に移しましたが、これまで同様、TEENS ROCKの優勝者にはオープニングアクトとしてステージに立っていただいています。皆さんとの物語は途切れることなく続いています。

現在、TEENS ROCKは日本全国で予選を開催するなど、そのスケールを拡大して、日本有数の高校生アマチュアバンド選手権に大きく成長しています。さらに、そのグランプリファイナルの開催地として、ひたちなかは音楽を志す高校生の聖地になっています。全国の高校生に夢を与え、ひたちなか市のブランドと活性化に寄与する素晴らしい事業だと思います。

そして、ひたちなか市政30周年／ROCK IN JAPAN FESTIVAL 25周年となる来年、ROCK IN JAPAN FESTIVALは、千葉市とひたちなか市（国営ひたち海浜公園）の2箇所での開催となります。もう一度ひたちなかで開催できることを嬉しく思っていますし、皆さんと一緒にひたちなか市をさらに盛り上げられることを楽しみにしています。

公益社団法人日本青年会議所会頭

麻生　将豊

一般社団法人ひたちなか青年会議所の皆様、創立30周年、誠におめでとうございます。30年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

本年に入り新型コロナウイルス感染症も収束傾向となり、少しずつではありますが、日常を取り戻してきています。しかしながら、不安定な世界経済が引き起こす影響や、紛争による原材料価格の高騰などの影響は大きく、社業や家族との、明るい未来への夢を描くことが難しくなったと感じる大人も多いのではないでしょうか。しかしながら、創立より青年経済人の想いを紡いでこられた貴青年会議所の皆さまにおかれましては、諸先輩方の熱き想いを継承し、30周年という記念すべき年に、藤田康広理事長が掲げられる『知行合一』というスローガンのもと、志を高く持ち、感謝の心を忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し邁進されることと存じます。

日本青年会議所といたしましても、「Drive　our　dreams～日本の魅力で世界を席巻しよう～」をスローガンに掲げ、全国各地で夢を描く仲間の事業をともに進め、日本の底力を世界へ発信してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに素晴らしい運動を展開されますこと、先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所第72代会頭　麻生　将豊

公益社団法人日本青年会議所
関東地区協議会会長

大川　浩嗣

この度、一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年の佳節を迎えられますことに、衷心よりお喜びを申し上げます。創立から今日に至るまでご尽力されました先輩諸氏の皆様のご功績に敬意を表するとともに、誇り高き志や伝統を受け継ぎ、自己の修練を重ねながら社会への貢献に邁進されております、現役会員の皆様にお祝いを申し上げます。

本年度、藤田理事長のもと、「知行合一」のスローガンを掲げ、明るい豊かな社会を実現するために、積極的に学ぶ機会を設けるとともに、知識を共有し、共に実行に移される一年にすることで、まちの魅力をさらに高められるようご期待申し上げます。

当協議会では、「かかわりとつながりが織り成す無限の可能性に満ちた関東地区の創造」を基本理念とし、より多くのLOMにかかわりを持つことに注力しております。また、広域連携によるLOM支援を実施することで、社会により良い変化をもたらすためのリーダーシップの開発と成長の機会を提供致しますので、今後とも当協議会への変わらぬご理解、ご協力を賜れますと幸いに存じます。

結びに、ひたちなか青年会議所の益々のご発展と会員の皆様のご活躍、さらには皆様の運動が、地域社会において素晴らしい成果が発揮されますことを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせて頂きます。

茨城ブロック協議会会長

松田　浩一

この度、一般社団法人ひたちなか青年会議所が本年で創立30周年を迎えられましたことに公益社団法人日本青年会議所　関東地区　茨城ブロック協議会を代表して心よりお慶び申し上げると共に、平素より茨城ブロック協議会の運動に対し格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。貴青年会議所は、地域社会の健全な発展を目指し、日本青年会議所763番目の青年会議所として勝田青年会議所と那珂湊青年会議所を合併して、平成6年6月に先輩諸氏のご尽力により誕生して以来、地域と未来への想いを胸に、30年という長きにわたり「明るい豊かな社会」の実現に向けて紡いでこられた歴史と功績、先輩諸氏より連綿と受け継いでこられました高い志に深く敬意を表します。

貴青年会議所におかれましては、藤田康広理事長の下「知行合一」をスローガンとして掲げ、力強いリーダーシップを発揮し、地域や市民の皆様に効果的な運動を展開され、素晴らしい創立30周年記念式典を開催されたことは、県内各地の青年会議所に勇気を与え、「明るい豊かな社会」の実現をすべくさらなる運動を展開されることをご期待申し上げます。

周年とは、創立の志に立ち返り次代の運動指針を打ち出す絶好の機会でありますが、30年という長きに亘り歴史と伝統を紡いでこられた皆様であれば、創始の志を改めて未来へと継承することは当然のことながら、必ずや多くの革新と共に新たな時代を切り拓き、藤田理事長が受け継いできた想いを実現し、素晴らしい運動展開をすることができると確信しております。

結びに、創立30周年を契機に5年後、10年後、その先の未来に向けて、貴青年会議所の会員の皆様が、より一層の飛躍が遂げられますこと、そして、貴青年会議所の益々のご発展と先輩諸氏、並びに現役会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人
石巻青年会議所理事長
後藤　峻

この度は一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

2011年3月11日に発災した東日本大震災からの復旧・復興においては、貴青年会議所のメンバー、そして先輩諸兄姉の皆様より多大なるご支援を賜りましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

貴青年会議所の前身である、那珂湊青年会議所と姉妹JCを締結した昭和50年。ここからスタートした私たちの交流は、互いに市町村合併を経て、平成7年10月に改めて石巻青年会議所とひたちなか青年会議所の姉妹JC締結となり、令和元年6月には、貴青年会議所との防災協定を締結させていただきました。これまで紡がれてきた交流が、より一層強固に、そして実効性のあるものへと昇華され今日に至ること、本当に嬉しく感じるとともに、この歴史を築き上げてきた先輩諸兄姉の歩みに厚く御礼申し上げます。

本年度、藤田康広理事長が掲げる「知行合一」のスローガンのもとに展開される運動が、先が見えない今の時代を切り拓き、地域に素晴らしい未来を築く礎になると、私はこれまでの交流を経て確信しております。これからも、地域を想い、汗を流し歩みを進める同志として、交流と研鑽を積み重ね、共に地域のより良い未来を創り上げて参りましょう。

結びに、貴青年会議所のさらなる発展と、活動地域が一層活力と笑顔にあふれた素晴らしいものになることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。30周年誠におめでとうございます。

一般社団法人
真岡青年会議所理事長
池田　陽一

一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。本日に至るまで長きにわたり弛まぬ情熱をもって紡いでこられた歴史と伝統、地域社会の発展にご尽力されてきた先輩諸兄諸姉の皆様に敬意を表すとともに、誇り高き志を受け継ぎ日々のJC運動に邁進されている現役メンバーの皆様に改めて敬意を表します。

本年度、我々一般社団法人真岡青年会議所では、心躍る未来へ「もっと熱くなれ」のスローガンのもと、地域の未来のために、メンバー一人ひとりが情熱をもち、様々な団体とパートナーシップを組み、地域愛の向上、子どもたちの創造力育成事業を行っております。また、その経験を通じながら次世代のメンバー育成などに取り組んでおります。

志を同じくする貴青年会議所におかれましては、藤田康広理事長のリーダーシップのもと「知行合一」のスローガンを掲げ、熱くJC運動に邁進されている姿は、友好JCとしてもとても心強く感じています。これまで築き上げられた輝かしい功績と伝統を継承し、今後も地域の発展に尽くされますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、30周年という大きな節目に、ひたちなか青年会議所が更なる飛躍を遂げられますこと、真岡青年会議所も一致団結し共に邁進させて頂きますことをご祈念、お約束申し上げ、お祝いの挨拶とさせて頂きます。

ひたちなか青年会議所
シニアクラブ会長

藤田　富夫

この度は一般社団法人ひたちなか青年会議所が創立30周年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

2011年3月11日に発災した東日本大震災からの復旧・復興においては、貴青年会議所のメンバー、そして先輩諸兄姉の皆様より多大なるご支援を賜りましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

貴青年会議所の前身である、那珂湊青年会議所と姉妹JCを締結した昭和50年。ここからスタートした私たちの交流は、互いに市町村合併を経て、平成7年10月に改めて石巻青年会議所とひたちなか青年会議所の姉妹JC締結となり、令和元年6月には、貴青年会議所との防災協定を締結させていただきました。これまで紡がれてきた交流が、より一層強固に、そして実効性のあるものへと昇華され今日に至ること、本当に嬉しく感じるとともに、この歴史を築き上げてきた先輩諸兄姉の歩みに厚く御礼申し上げます。

本年度、藤田康広理事長が掲げる「知行合一」のスローガンのもとに展開される運動が、先が見えない今の時代を切り拓き、地域に素晴らしい未来を築く礎になると、私はこれまでの交流を経て確信しております。これからも、地域を想い、汗を流し歩みを進める同志として、交流と研鑽を積み重ね、共に地域のより良い未来を創り上げて参りましょう。

結びに、貴青年会議所のさらなる発展と、活動地域が一層活力と笑顔にあふれた素晴らしいものになることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。30周年誠におめでとうございます。

JCI
ひたちなか
2023
Vision

私たちJCIひたちなかは
地域を先導するリーダーとして
誰もが活躍できるまちを目指し
市民と協働することで
夢と笑顔と音楽が響き合う
世界に誇れるまち那珂大地を創造します

【はじめに】
ひたちなか青年会議所(以下 JCI ひたちなか)は、いまより 30 年前、ひたちなか市の誕生の礎となるべく、ひたちなか市誕生前に、社団法人那珂湊青年会議所と社団法人勝田青年会議所との日本初の社団法人合併を経て 1994 年に誕生しました。私たちがこの地域において、ひたちなか青年会議所としてあり続けるために、これまで2つの青年会議所が紡いできた歴史を継承し、時代に即したアクションを起こし、地域の課題を解決するとともに、明るい未来を目指し多くの運動を展開してまいりました。変化の激しい現代社会において、時代や社会情勢に応じた JCI ひたちなかの具体的なあるべき姿を「中長期ビジョン」として概ね5年ごとに見直しを行うことといたしました。私たち一人ひとりが地域のリーダーとなり明るい豊かな社会の実現を目指し、イノベーションを起こすことで那珂大地の未来を創造してまいります。

第1節「私たち JCI ひたちなかは」(主語)
「私たち JCI ひたちなかは」と明示することで、個人でなく「組織」としての宣言であることを示しています。

第 2 節「地域を先導するリーダーとして」(組織の在り方)
JCI ひたちなかは、これまで地域の発展のために、社会により良い変化が生まれるための多くの運動を展開してまいりました。率先して行動する地域の未来を切り開くリーダーを育成していくことを示しています

第 3 節「誰もが活躍できるまちを目指し」(時代背景)
世界では今もなお多くの戦争や紛争が起きています。お互いの違いを認め合い、受け入れることで対立の構図ではなく、ナショナリズムやジェンダー、人種、ハンディキャップに偏らず、あらゆる若者が活躍できる社会を目指すことを示しています。

第 4 節「市民と協働することで」(手法)
私たち青年会議所は、地域の課題を解決し、まちにインパクトを与え、市民の意識変革と行動変革を起こせる運動を展開し、社会により良い変化を生み出す「変革」を起こす団体です。多くの市民・団体とともに協働し地域の発展を目指すことを表しています。

第 5 節「夢と笑顔と音楽が響きあう世界に誇れるまち那珂大地を創造します」(目的)
那珂大地に住み暮らす人々が、夢や希望を持ち、幸せや喜びに溢れ笑顔で暮らすことのできる社会を意味します。音楽が人々を結び付け、喜びや感動を生みだし、私たち市民が自信をもって世界に誇れる素晴らしいまちを創ることを誓う形で宣言しています。

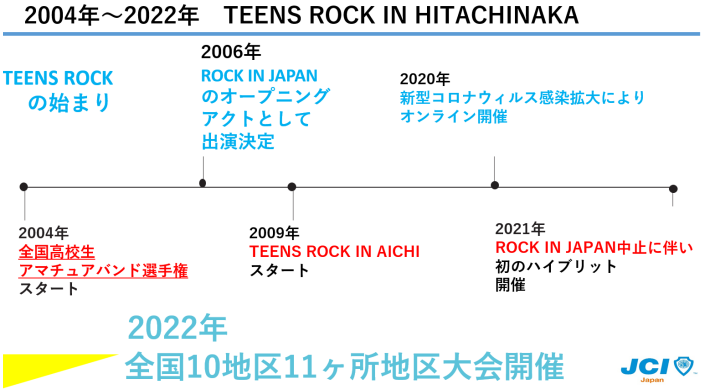
STORY OF HITACHINAKA

30周年記念事業紹介

2023年8月9日に、JCIひたちなかの30周年と20回目のTEENS ROCKを記念して「TEENS ROCK 2023 GP FINAL IN HITACHINAKA × JCIひたちなか30周年記念対談&ライブ『マチノコレカラ×オンガクノチカラ』」を開催しました。初めてTEENS ROCK事業の会場となったひたちなか文化会館には、全国から集まったTEENS ROCK出場バンドメンバーやその関係者と、それを支えるJCIひたちなかジュニアクラブメンバー、TEENS ROCK運営スタッフ、そして会場外で初の取り組みとなる地元中学生の出店ブースなど多くの熱量が一体となり、大きな賑わいが生まれていました。

30周年記念対談&ライブには、ミュージシャンの藤巻亮太氏をお招きしました。藤巻氏は、地元の山梨県で「Mt. FUJIMAKI」という音楽イベントを立ち上げるなど、地方での活動にも精力的な方として知られています。高校生のアマチュアバンドに向けて、第一線で活躍する方の想い溢れる演奏は、私たちも心打たれるものでした。「粉雪」や「365日」など数多くの名曲をひたちなかの地で披露していただきました。対談では、「マチノコレカラ×オンガクノチカラ」と題して、ひたちなか市長大谷 明様を交え、藤巻氏、藤田理事長による対談が行われました。「音楽のまち」としてこれからひたちなかがどのようにあるべきか、どんな取り組みが私たち市民に求められているかを議論しました。TEENS ROCKのような一般市民によるアマチュアバンドが発表できる、または第一線で活躍される方々の演奏を気軽に触れられる場、機会の創出という今後の活動に向けたヒントを頂くことができました。大谷市長と藤巻氏が、事業直前にたまたま石巻で顔を合わせていたということも判明するなど、大変和やかな雰囲気のもと前向きな議論が行われました。

当日は、茨城ブロック協議会役員の皆様や県内だけでなく全国の青年会議所から、多くの励ましの声と共にご出席を賜りました。深く御礼申し上げます。



TEENS ROCK
TEENS ROCK
TEENS ROCK
TEENS ROCK
TEENS ROCK
TEENS ROCK
TEENS ROCK

実行委員長挨拶
岡 部 綾 太
ROCK IN JAPAN FES. 2022
TEENS

JCI TEENS ROCK GP FINAL IN HITACHINAKA
JX金属
HELTEC
ROCK IN JAPAN FES. 出演権
JCI TEENS ROCK HITACHINAKA
2023 [Sat]
入場無料

第20代
JCIひたちなかジュニアクラブ長

永野 結愛

今年のTEENSROCK2023inHITACHINAKAGPFINAL
のジュニアクラブ長として振り返ると様々な方々にご協力頂いたと思います。本当にありがとうございます。その中でも特に強く感じたのが「長」という責任です。ジュニアクラブのメンバーが去年から倍になりまとめるのが大変でした。さらに人前で自分の意見を伝えるという難しさも同時に感じていました。全体を見て指示を出す。そのような経験がなかった私にとってとても難しかったです。その反面運営することの楽しさもありました。そして、人前で話すことの難しさをとても強く感じました。失敗してはいけないという気持ちからとても緊張した記憶があります。このような経験は決して無駄ではなくむしろ中々経験できないと思います。「長」として運営させて頂いたことにとても感謝しています。この先きっとこの経験が役に立つ時がくることを信じて何事にも全力で取り組んでいきたいと思います。

TEENS ROCK の歩み

第18、19代
JCIひたちなかジュニアクラブ長

原口 寧音

2年間ジュニアクラブ長として参加したティーンズロックのボランティアの経験は、私にとって非常に貴重なものであり、多くのことを学ぶ機会となりました。
ティーンズロックの運営には予測できないトラブルも多く、特にコロナ禍では突然のアーティストのキャンセルや、イベントが予定通り開催できないなど、高校生だけで対処することが難しいこともたくさんありました。
それでも高校生だからこそできることを積極的に探し、最後まで仲間と共に活動し、本番を成功終えることができた事を、大変嬉しく感じます。
そして、JCIの皆様の姿を近くで見てきて、さまざまなことを学ぶことが出来ました。特に、仲間と困難に立ち向かい、共に切磋琢磨する姿は、とてもかっこよく映りました。
同時に、多くの人が音楽に触れ、繋がっていく姿を見ることで私自身も音楽の魅力に改めて感動し、これからも地元であるひたちなかを音楽の街として盛り上げたいと感じました。
2年もの間、このような貴重な機会を頂き、本当にありがとうございました。

HITACHINAKA
30年の歩み

1994

第1代　枝川　重樹
NEW COMMUNICATION
～出会い・ドラマ・そして歴史…～

事業内容

親子ふれあい事業「ウォークラリー」、ひたちなか市「市民オンブズマン制度」研究会、、まちづくり市民塾、まちづくりシンポジウム開催、ＬＩＡ会議、ファミリーパーティー開催

1995

第2代　佐川　正夫
With a Heart　ひたちなか
今、この思いを未来(あす)へ

事業内容

設立総会、
創立総会、
統合記念式典・認承証伝達

1996

第3代　真子　敏幸

事業内容

親子ふれいあい事業「97ひたちなかＪＣカップ スーパードッジボール」開催、県央圏ネットワーク委員会「七夕例会」開催、ＮＰＯセミナー、ＭＩＡセミナー、ＴＡセミナー開催、ファミリーパーティー開催、「ゆうあいピック名古屋大会」視察

1997

第4代　藤田　秀夫
THE「座」
とにかく集まれ、いいから座れ

事業内容

(社) 日本青年会議所 会頭 公式訪問 主管、友好ＪＣ締結式（真岡ＪＣ）、姉妹都市交流事業「海友隊」（石巻ＪＣ合同）
親子ふれあい事業「親子ふれあい歩く会」まちづくりシンポジウム、県央圏ネットワーク委員会「七夕例会」開催、
ＭＩＡセミナー、マインド・マッピングセミナー開催、ファミリーパーティー開催

1998

第5代　綿引　薫
One for all , All for one

事業内容

「東海村まちづくり」講演開催、カラーコーディネートセミナー開催、共育フォーラムジュニア会議開催、「県央圏パネルディスカッション」開催、となりまち探検隊開催、「地域貢献会社」ワークショップ開催、共育シンポジウム開催、「常陸那珂地域の過去・現在・未来を考える」講演開催、"輝くまち"づくりのためのネットワーク・地域ビジョンづくり、ＪＣＯ臨界事故における意見書提出、パソコン導入理事会、第5回ひたちなかまつり開催

1999

第6代　清水　宣行
TAKE ACTION「新ひたちなか２１」
～世界で一番輝くまちをめざして～

事業内容

教育ファーラム開催（狩野文部政務次官、辻村初等中等局長 他）、思いやりの心育成事業「フレンドリー広場」開催、「ゆうあいピック茨城大会・後夜祭」開催（４ＬＯＭ推進部会）、「２０２５年世界で一番輝く地域」提言書・提言ビデオ製作「ゆうあいフォーラム９８」開催（提言発表、講師 石井めぐみ氏 他）、綾町調査ミッション、ＪＣアカデミー開催（７ステージ）、パソコン導入理事会

2000

第7代　関谷　浩一
ひたちなかルネッサンス
～今こそ原点に戻って～

事業内容

「聴いてみよう議長の話」開催、「ＪＣメンバーとして何をしたか、何をすべきか」講演開催、「第２回新世紀塾」開催、「チャリティーゴルフコンペ」開催、「スーパーフットサルinひたちなか」開催、「県央圏ネットワーク委員会・七夕例会」開催、「常陸那珂港ネクストステージの展望」講演開催、「銀行が融資したくなる決算書とは」講演開催、「歴史教科書を考える」講演開催、パソコン導入理事会、第７回ひたちなかまつり開催

2001

第8代　坂下　英雄
拓け　新世紀　青年の気概で
～２１世紀のJC活動を共に創ろう～

事業内容

「地域と原子力を考える」講演開催、マネージメントセミナー開催、子供たちの気持ちの受け止め方・付き合い方 講演開催、「選挙予想ゲーム」開催、まちづくりデザインワーク開催、長期政策ディベート開催、ワインセミナー講演開催、「キャッシュフロー経営の時代における決算書の見方」講演開催、経営セミナー「鈴木誉志男の経営学」講演開催、常陸那珂みなとまちづくりフォーラム講演開催、「心の共育フォーラム２０００」講演開催、「人間関係を良くする話し方」講演開催、パソコン導入理事会、第６回ひたちなかまつり開催

2002

第9代　黒澤　広忠
CHANGE THE WORLD
ー 依存から自立へ　新たなる時代を創るために ー

事業内容

統合１０周年記念式典開催「人間力セミナー」開催、「地域社会における心のバリアを考える」講演開催、「統合１０周年記念 THE座談会 未来へ ～これから10年、魅力溢れる地域の創造に向かって」開催、「心のバリアフリーから始まる自立への道」開催、「県央圏ネットワーク委員会・七夕例会」開催、「人間関係を良くする話し方」講演開催、パソコン導入理事会、第９回ひたちなかまつり開催

2003

第10代　五十嵐　則夫
日本精神の本質へ
～尊厳ある誇りを胸に、変革のシェアリング～

事業内容

「合併の歴史を振り返る」講演開催、「家庭が危ない！今、家族としてできること」講演開催、「地域合併勉強会」開催、「県央圏ネットワーク委員会・七夕例会」開催、「元気な企業になるために」開催、「スーパーフットサルinひたちなか」開催、「検討！地域主催のあり方」講演開催、「松尾宗典君JCを語る」講演開催、パソコン導入理事会、第８回ひたちなかまつり開催

2004

第11代　菊池　雅人
～ほんもののJC運動～
原点へ、そして新たなる創造へ

事業内容

TEENS ROCK IN HITACHINAKA 開催、第５３回全国会員大会水戸大会 副主管、「『ジョーシキの時間』～ひたちなかを愛するものとして～」開催、「これからの会社経営に必要な人づくり」講演開催）、『子供達とのコミュニケーション』を考える」開催、「地域活性は『ひたちなか』から」講演開催、海友隊２００４開催、「ロバート議事法を学ぼう」講演開催、「ディベートゲーム」開催、パソコン導入理事会、第１０回ひたちなかまつり開催

事業内容

「企業リスク回避セミナー」講演開催、「ひたちなか市のアイデンティティーを創造しよう！」開催、「心の社会共育を学ぶ）開催、「平成JC塾」開催、「Think Globally! Act Locally!」講演開催、「TEENS ROCK IN HITACHINAKA Vol.2」開催、「CAMP VILLAGE」開催、「経営革新実践セミナー～勝者の人生脚本を持とう！～」講演開催、「HIV感染者と共に生きる ～ Yesterday Today Tomorrow ～」開催、パソコン導入理事会、第11回ひたちなかまつり開催

2005

第12代　海野　泰司
一挨一拶
～創始の精神に立ち還り、未来を切り開こう～
原点へ、そして新たなる創造へ

事業内容

「『THE・ゴミ』あなたのゴミの行方を知っていますか?」開催、「『仮想ひたちなかJC新法律制定～ほんものの「ひたちなか魂」が今ここに...～』」開催、「心は一つ!!『音楽のまちひたちなか』」、「ものの見方を考えてみよう」開催、「『THE・ゴミ vol.2「STOP!温暖化」～煌く地球を子供達へ～』」開催、「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2007」開 催、TEENS ROCK IN HITACHINAKA 日 本JC褒 章 初 エ ン ト リ ー、「CAMP VILLAGE 2007」開催、「リーダーシップ育成セミナー（ひたちなかJC版）～リーダーシップ宣言への道～」開催、卒業生担当例会開催「ひたちなかJC卒業生カップ フットサル大会」、「JC陶芸家族交流会」開催、パソコン導入理事会、第１３回ひたちなかまつり開催

2006

第13代　鴨志田　聡
輝け!!ひたちなかJC
～輝く未来への「道」をいざ行かん～

事業内容

「地域ビジョン創造のために～ JCの使命を再確認しよう～」開催、「JC的教育委員会～今後JCはどのように教育に関わるべきか～」開催、「輝かそうひたちなか！これからのＪCの方向性と可能性を！出て来い！時代を動かすJaycee（若者）よ！ひたちなかから日本を変える！」開催「ちびっ子オセロ大会ひたちなか予選」開催、「輝く地域ビジョン創造のために～コミュニティビジネスを学ぼう～」開催（、「よりよい人間関係を築くための話し方 人の心を掴む輝くコミュニケーターになろう！」開催、「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2006」開催、「CAMP VILLAGE 2006」開催、「ひたちなか青年会議所事業報告例会～人・まち・地域の輝跡～」開催、「輝くJAYCEEに成る為に！」開催

2007

第14代　鈴木　忠夫
「呼起せ!ひたちなか魂」
～一瞬の輝き　それは永遠の始まり～

事業内容

「次世代の子どもたちに食の大切さを知ってもらうために...」開催,「協働してつくる新しいまちづくりへ」開催,「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2009」開催「ファシリテーション・セミナー ～ひとを育て・組織が変わる～」開催、「ひたちなか大草原の花火と音楽」～一万発の HANABI イリュージョン～開催,「いばらきちびっ子オセロキャラバン2009ひたちなか大会」開催「公益社団法人への移行に伴う定款・会計Before→After」開催,「『海の恵みに感謝』明日から魚好き！魚食の推進 親と子の絆を育もう！」開催,「CAMP VILLAGE 2009」開催、「衆議院議員選挙茨城第４区公開討論会」開催」,「自治力アップ・ひたちなかまワークショップ「明るい豊かなまちを目指して ～ひたちなか市民討議会2009 ～」」開催,「地球（まち）に求められるJCとして、更なるスキルアップを」開催 ディベートテーマ「霞ヶ浦導水事業は継続すべきだ」・「日本は少子化対策として一夫多妻制を導入すべきだ」・「CAMP VILLACEは移管すべきだ」、パソコン導入理事会、第15回ひたちなかまつり開催

2008

第15代　清水　利春
太陽を胸に輝く未来へ!
～崇高な誇りと自信溢れるまち創造へ向けて～

事業内容

「環境問題待ったなし！～これであなたも環境通～」開催、「市民主体のまちづくり実現へ向けて」開催、「TEENS ROCK INHITACHINAKA 2008」開催、「よりよい企業へ～企業の社会的責任（CSR）を学ぶ～」開催、「１５周年記念祝賀交流会」開催、「新たなる価値を目指して～公益性とは～」開催、「学びあおう！未来に残す環境と心」開催、「CAMP VILLAGE 2008」開催、「市民討議会開催を！～新たなまちづくりのかたちの必要性～」開催、「いのちと向かい合う時～感謝の原点を見つめよう～」開催、「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 国民文化祭編」開催、いばらきちびっ子2008オセロキャラバンひたちなか地区大会開催、プレ市民音楽祭開催、ひたちなかサウンドシップ市民交流会開催、会員・家族交流会設立会員・家族交流会の開催、3回の新入会員研修会開催、パソコン導入理事会、第１４回ひたちなかまつり開催

2009

第16代　高倉　美佳
「絆、感謝と思いやり」
私たちの地域（まち）実現に向けて!

事業内容

「ワタシたちのまちづくり 高校生編」、ひたちなか市災害ボランティアセンター開設、第1回東日本大震災復興支援プロジェクト、第2回東日本大震災復興支援プロジェクト,第3回東日本大震災復興支援プロジェクト、「いばらきちびっ子オセロキャラバン2011・小学生オセロひたちなか大会」,「全国高校生アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2011」,「ROCK IN JAPAN FES.CAMP VILLAGE 2011」、「第2回通常総会」、「好感度の高い魅力的な人になる為には～色彩戦略～」,第４回東日本大震災復興支援プロジェクト「おらほの復興市～石巻・女川・東松島～」,「那珂大地フォーラム2011 ～ひたちなか市、東海村の未来を考えよう～」,「JC正道相伝」卒業生の魂と想いをつなげ！」「VMVセミナー」「卒業生を送る会」、第17回ひたちなか祭

2010

第17代　砂押　完児
覚悟を持って輝く未来を
～希望と感動溢れるまちの創造～

事業内容

「営業力アップで業績アップ。あなたの業績が変わる！」,「ブロック会員大会Before→After」～覚悟を持って成功させよう～,「間近にせまる食糧危機問題」～未来の子供たちへ、今我々が出来ることは～,TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2010,実践！目指すリーダーになるためには」、いばらきちびっ子オセロキャラバン2010ひたちなか大会、ウォークラリー～共に考え共に行動しゴールを目指せ～,ROCK IN JAPAN FES.CAMP VILLAGE 2010,第３９回茨城ブロック会員大会 ひたちなか大会/第２回通常総会,食から始まるまちづくり,ひたちなかふしぎ発見！～ふるさとをもっと知ろう～,卒業生担当例会「これぞ例会の原点記憶に残るひたちなかJC流マインドマップセミナー7時半だヨ！全員集合」/卒業生を送る会
,第16回ひたちなかまつり

2011

第18代　安　雄一朗
JCの誇りを胸に、社会へのコミットメント
夢と希望あふれる自立した那珂大地の造に向けて

2012

第19代　鈴木　宏康
「DO one action everyday」復興一人一人が出来ることを継続的に真に笑顔で安心安全な新たな地域（まち）を築いて行こう!

事業内容

「ＪCの無限なる可能性～世界に広がるネットワークもまずは小さな一歩から～」,「災害心理学から学ぶ心のケア ～取り戻そう！希望溢れるこどもたちの笑顔を～」,「防災フロンティア～安心できる未来のまちづくりに向けて～」、関東地区フォーラム,「全国高校生アマチュアバンド選手権TEENS ROCK IN HITACHINAKA2012」,「いばらきちびっ子オセロキャラバン2012ひたちなか大会」次世代を輝かす委員会、「地域（まち）の真のリーダーとしてあるべき姿を学ぼう！」,「姉妹ＪC青少年交流「海友隊」2012」,「ＣＡＭＰ ＶＩＬＬＡＧＥ 2012」,「第２回通常総会」,「自らの地域（まち）は自らが守る」～ＪCとして真に安心できる災害に強いひたちなかを目指して～」,「次代へ継げ！ TAKE ACTION!!」100%例会達成,「卒業生を送る会」,第18回ひたちなか祭り

2013

2013

第20代理事長

井上　真治

スローガン

那珂大地トライアングル
～活気溢れる那珂大地の創造に向かって～

基本理念

夢と笑顔溢れる地域のすばらしい未来のために
確かな一歩を踏み出そう

基本方針

A 地域未来ビジョンの確立
B 未来を担う次世代のために夢と希望溢れる教育の実践
C真のJAYCEE育成と戦略的な会員倍増の実現
D一般社団法人格取得申請手続きの開始及び移行
E出向者の積極的な支援と出向者についての情報受発信
F組織変革に対応した戦略的組織の創出及び効率的な 組織運営
G統合20周年を迎えるにあたり、これまで支えてくれ た先輩や仲間に心からの感謝を形にする
H音楽のまちのさらなる発展へ向けての継続事業運営
I進化を実現する公の為の継続事業運営

主な事業

1月：例会「定時総会」総務広報渉外委員会
2月：例会「講演『加賀屋流』おもてなしの精神（こころ）を学ぶ」
3月：例会「今日から実践！憧れられる常識人！」
4月：例会「那珂大地は一つ～地域未来ビジョンを研究して広域連携する地域（まち）づくり～」
5月：例会「全国高校生アマチュアバンド選手権第10回TEENS　ROCK IN HITACHINAKA 2013」
6月：統合20周年記念式典及び祝賀会
7月：例会「実践しよう、郷土愛ー郷土の誇りを胸に秘めてー」
8月：CAMP　VILLAGE　2013
8月：第二例会　家族交流会
10月：例会「統合20周年記念事業　那珂大地フォーラム2013」
11月：例会「卒業生担当例会『俺の話を聞け　～たかがタワゴト、されどタワゴト～」
12月：例会「卒業生を送る会」

2014

第21代理事長

瀬谷　雄一

スローガン

那珂大地トライアングル
～活気溢れる那珂大地の創造に向かって～

基本理念

全てにつながりのある活気溢れる
那珂大地に向かって　共に行動しよう

基本方針

A 那珂大地ビジョンの研究と発信
B 郷土愛を醸成する未来担う次世代教育の実践
C 会員の増強
D 出向者の積極的支援とに関する情報受発信
E 情報の的確な受発信による共有と円滑組織運営
F JC運動の地域（まち）へ発信
G 音楽のまち拡大と継続事業再構築
H 地域（まち）の為継続事業へさらなる変革
I 地域（まち）の為ブロック事業運営

主な事業

1月：例会「定時総会」総務渉外委員会
2月：例会「語ろう！ＪＣジュニアクラブの未来を」次世代に那珂大地・愛を育む委員会
3月：例会『スターバックスから学ぶ「人がすべて」』～今から実践！ミッション経営～　会員増強・研修委員会
4月：例会「那珂大地へズームイン!!」広域連携推進委員会
5月：例会「いばらきちびっ子オセロキャラバン2014 ひたちなか大会」いばらきちびっ子オセロキャラバン2014実行委員会
6月：例会「目覚めよJAYCEE ～熱い想いを語りつくせ～」広報委員会
7月：例会「会員家族交流会」会員増強・研修委員会
8月：例会 第10回CAMP VILLAGE2014 CAMP VILLAGE2014実行委員会
8月：例会全国高校生アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK IN HITACHINAKA2014 TEENS ROCK2014実行委員会
9月：例会 2014年度臨時総会 総務渉外委員会
9月：例会「親子でトレインラリー！～ひたちなか海浜鉄道途中下車の旅～」次世代に那珂大地・愛を育む委員会
10月：例会「エネルギーで繋がろう那珂大地」広域連携委員会
11月：例会「SAYONARA大運動会!!」総務渉外委員会
12月：例会「卒業生を送る会」総務渉外委員会
その他　５名の会員拡大

2015

第22代理事長

吉川　大介

スローガン

専心
～個々の色で未来を描く～

基本理念

情熱を胸に輝く未来を創る真のJAYCEEとなろう

基本方針

A　時代へ繋げる地域（まち）づくりの確立
B　未来を担う次世代の育成
C　ＬＯＭ一丸となっての会員の拡大
D　出向者の積極的支援と出向者に関する情報の受発信
E　円滑な組織運営と会員資質の向上
F　女性会員間の交流
G　音楽のまちの発信と次世代の育成
H　地域（まち）に根差した継続事業の実施
I　地域（まち）を輝かせるためのブロック事業の運営

主な事業

1月：例会「定時総会」総務研修委員会
2月：例会「みんなで作ろう<那珂大地の輪>」会員拡大連絡会議
3月：例会「我ら一つの共同体なり～今、改めてヤンサマチを学ぶ～」次世代未来創造委員会
4月：例会「大人のためのマナー講座～すぐにつかえるコミュニケーション能力アップ」女子力連絡会議
5月：例会「米づくりから食育をまなぼう！　米づくり体験交流会」（田植え）農業から郷土愛を養う委員会
6月：例会「いばらきちびっこオセロキャラバン2015ひたちなか大会」いばらきちびっこオセロキャラバン2015ひたちなか大会実行委員会
7月：例会「家族交流会」会員拡大連絡会議
8月：例会「CAMP VILLAGE2015」CAMP VILLAGE2015実行委員会
8月：例会「全国高校生アマチュアバンド選手権第11回TEENS ROCK IN HITACHINAKA2015」TEENS ROCK2015実行委員会
9月：例会「臨時総会」総務研修委員会
9月：例会「笠松子どもまつり～ヤンサマチって知ってるかい？」次世代未来創造委員会
10月：例会「米づくりから食育をまなぼう！　米づくり体験交流会」（収穫祭）農業から郷土愛を養う委員会
11月：例会「防災セミナー～ TAKE ACTION ！～」総務研修委員会
12月度例会「卒業生を送る会」総務研修委員会
その他　13名の会員拡大

2016

第23代理事長

増田　直

スローガン

無有代者
～未来に樹ち今を生き地域の為に人と成り為す～

基本理念

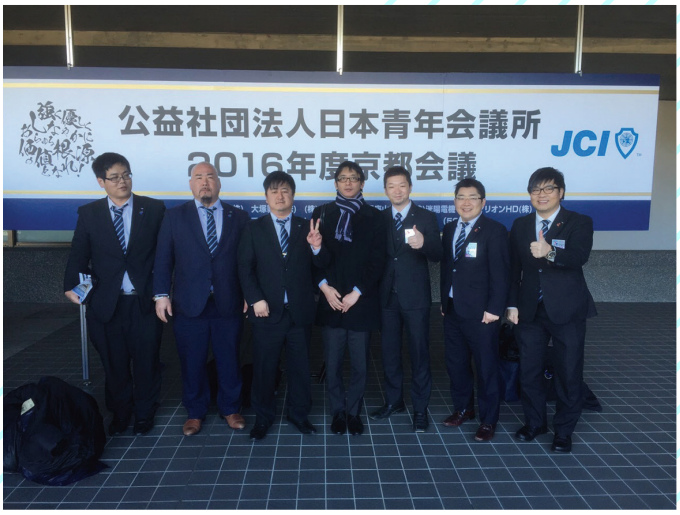
地域　（まち）に寄り添い自身の成長に繋げ、地域（まち）に還元し共に成長しよう

基本方針

A　地域と考える地域づくりの研究と発信
B　次世代を担う青少年の育成
C　ジュニアクラブの成長に繋がる活動支援
D　会員の拡大
E　会員の成長と資質の向上
F　出向者の支援と出向者に関する情報の受発信
G　円滑な組織運営と地域との連携
H　音楽のまちの発信と青少年の育成
I　地域と連携した継続事業の実施と進化
J　地域に還元するブロック事業の運営

主な事業

・1月：例会「2016年度定時総会」総務渉外委員会
・2月：例会「ＪＣの基礎を学ぶ～いまこそ、輝く「人財」になろう～」人財育成研修委員会
・3月：例会「人と地域が繋がる那珂大地の輪」那珂大地会員拡大委員会
・4月：例会「REFERENDUM　～次世代の声を那珂大地の未来に～」未来を担う次世代育成委員会
・5月：例会「～真の政策団体を目指して～ FOR THE CHILDREN」那珂大地のみらい育成委員会
・6月：例会「いばらきちびっ子オセロキャラバン2016ひたちなか大会」いばらきちびっ子オセロキャラバン2016実行委員会
・7月：例会「那珂大地ハイスクール議会2016」未来を担う次世代育成委員会
・8月：例会「CAMP VILLAGE2016」CAMP VILLAGE2016実行委員会
・8月：例会「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2016」TEENS ROCK 2016実行委員会
・9月：例会「臨時総会」総務渉外委員会
・10月：例会「つくろう未来!～親子で学ぶ地域（まち）づくり～」那珂大地のみらい育成委員会
・11月：卒業生担当例会「ＪＣ版おにごっこ卒業生からの卒業」総務渉外委員会
・12月：例会「卒業生を送る会」総務渉外委員会
・その他　３名の会員拡大



2017

第24代理事長

砂押　知倫

スローガン

考動
～変革せよ！変革を迫られる前に～

基本理念

未来を見据え率先して行動する地域（まち）のリーダーとなろう

基本方針

A　魅力溢れる地域づくりの確立
B　郷土愛溢れる青少年の育成
C　更なる運動発展のための人材育成と会員拡大
D　地域（まち）に根差した継続事業の実施
E　音楽のまちの発信と次世代の育成
F　出向者支援と情報の受発信
G　円滑な組織運営と地域への発信
H　地域（まち）を輝かせるための地域と連携した運動の発信

主な事業

・1月：例会「2017年度　定時総会」総務スクラム委員会
・2月：例会「那珂大地会員拡大例会～今なら間に合う、全員で会員拡大～」拡大研修イノベーション委員会
・3月：例会「魅力溢れる那珂大地の創造に向かって～I SEE THE LIGHT ～」那珂大地IMAGE UP促進委員会
・4月：例会「郷土探検隊～那珂×２いい仲那珂大地～」郷土愛BRING UP委員会
・5月：例会「家族例会～東京浅草で家族・メンバー全員で交流を深めよう～」拡大研修イノベーション委員会
・6月：例会「那珂大地魅力ふれあい体験会」那珂大地IMAGE UP促進委員会
・7月：例会「GO！GO！トレイン～ひたちなか海浜鉄道の旅～」郷土愛BRING UP委員会
・8月：例会「CAMP VILLAGE 2017」CAMP VILLAGE 2017実行委員会
・8月：例会「全国高校生アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2017」TEENS ROCK 2017実行委員会
・9月：例会「2017年度 臨時総会」総務スクラム委員会
・10月：例会「那珂大地コンファレンス　～更なる高みへ新たな挑戦～」那珂大地コンファレンス運営会議
・11月：例会「卒業生担当例会」茨城の風になれ！～ちゃんばーカップ開幕～ 総務スクラム委員会
・12月：例会「卒業生を送る会」総務スクラム委員会
・その他　６名の会員拡大

萩谷樹莉君 JCI APDC アジア太平洋エリア開発協議会　開発担当役員として出向

2018

第25代理事長

石川　浩通

スローガン

覚醒
～目覚めたその先へ～

基本理念

地域　（まち）の未来のために、
次世代と共に成長しよう

基本方針

A　地域（まち）の未来のための地域（まち）づくり
B　次世代を担う青少年の育成
C　会員の拡大・成長と資質の向上
D　出向者支援と出向者に関する情報の受発信
E　円滑な組織運営と地域との連携・発信
F　音楽のまちの発信と青少年の育成
G　地域と連携した継続事業の実施
H　25周年記念祝賀会の企画と実施

主な事業

・1月：例会「2018年度　定時総会」総務オーバーテイク委員会
・2月：例会「１UP~あなたの右脳を刺激する効率的なノート記述法～」拡大研修連絡会議
・3月：例会「足なみをそろえていこうじゃないか」総務オーバーテイク委員会
・5月：例会「目指せ!災害への備えが繋ぐまちづくり～まちを守るリーダーへの道～」那珂大地つながる未来創造委員会
・6月：例会「キッズ味噌づくり体験　～ねぇねぇ、できたおみそでなにつくる?～」次世代育成委員会
・7月：例会「家族例会?真岡ＪＣとひたちなかＪＣの本気の交流会PART ２?」拡大研修連絡会議
・8月：例会「全国高校生アマチュアバンド選手権TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2018」TEENS ROCK 2018実行委員会
・8月：例会「CAM PVILLAGE 2018」CAMP VILLAGE 2018実行委員会
・9月：例会「2018年度　臨時総会」総務オーバーテイク委員会
・10月：例会「キッズとうふづくり体験　～つなげよう!日本の食べもの～」次世代育成委員会
・「25周年記念祝賀交流会」25周年連絡会議／いきいき茨城ゆめ大会開催記念事業
わくわくスポーツ体験会IN HITACHINAKA ～障害者スポーツ編～　いきいき茨城ゆめ大会開催記念事業実行委員会
・「ひたちなか市長選挙公開討論会」那珂大地つながる未来創造委員会
・11月：例会「地域（まち）を守るための第一歩!～自分自身を守り抜け～」那珂大地つながる未来創造委員会
・12月：例会「卒業生を送る会」総務オーバーテイク委員会
・その他　５名の会員拡大

萩谷樹莉君 JCI APDC アジア太平洋エリア開発協議会　議長特別補佐として出向
JCIセネター認証

2019

第26代理事長

永井　大貴

スローガン

疾風勁草
～信念を持って行動しよう～

基本理念

自らが失敗を恐れることなく、
多くの事に挑戦していこう

基本方針

A　地域創りを先導していく団体として運動を展開と提言
B　青少年育成事業の持続可能な事業構築
C　堅実な組織運営と地域との連携・情報発信
D　音楽のまちの発信と青少年の育成
E　地域と連携した継続事業の実施
F　定期的な会員交流の計画と実施

主な事業

・1月：例会「2019年度定時総会」総務イノベーション委員会
・2月：例会「那珂大地ジョブツアー2019 ～地域（まち）は誰かの仕事でできている～」那珂大地シビックプライド育成委員会
・3月：例会「ユースカウンシル～わかものに学ぶ市民と議会のつなぎ方～」未来の那珂大地共創委員会
・4月：例会「エンジョイ・・・プレイボール！」会員交流連絡会議
・7月：例会「架け橋たれ　ひたちなかＪＣ政策会議」未来の那珂大地共創委員会
・8月：例会「CAMP VILLAGE 2019」CAMP VILLAGE 2019実行委員会
・8月：例会「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2019」TEENS ROCK 2019実行委員会
・9月：例会「2019年度臨時総会」総務イノベーション委員会
・10月：例会「経験者に聞こう『～ＪＣ学んだ経験談～』」アカデミーメンバー
・11月：例会「サバイバル～理事長を狙え！～」総務イノベーション委員会
・12月：例会「卒業生を送る会」総務イノベーション委員会
・その他　９名の会員拡大

2020

第27代理事長

川﨑　裕弥

スローガン

輝く
～メンバーが創る未来～

基本理念

志を強く持ち信じる道を進みましょう

基本方針

A　那珂大地が持続可能な社会になる事業構築
B　青年経済人として地域を牽引する人材育成や事業展開
C　円滑な組織運営と広報戦路
D　青少年育成事業を含めながら新たな観光資源とした事業発展
E　この地域の魅力を更に発信していく継続事業の実施
F　30周年に向けてビジョンを構築と準備と新入会員が参画できる事業構築

主な事業

・1月：例会「2020年度定時総会」専務室
・2月：例会「裕弥の部屋」専務室
・3月：例会（中止）
・4月：例会「支え合おう!みんなでチャリティーマスク」THINK THE那珂大地委員会
・5月：例会（11月に延期）「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2020」
TRH 2020実行委員会
・6月：例会（11月に延期）「“JCIひたちなか杯” 野球しようよ! 2020~SMILE PROJECT ～」青少年向上委員会
・7月：例会（中止）
・8月：例会（中止）
・9月：例会「臨時総会」専務室
・10月：例会「BEFORE 30TH ANNIVERSARY」30周年準備連絡会議
・11月：例会「輪を持って尊しとなす～背中で紡ぐ卒業生の軌跡～」専務室
・12月：例会「卒業生を送る会」専務室
・「JCIひたちなか 命の輪プロジェクト」新型コロナウイルス対策実行連絡会議
・「KEEP YOUR HEAD UP ～未来を担う子供たちへ」新型コロナウイルス対策実行連絡会議
・その他　４名の会員拡大

2021

第28代理事長

川﨑　裕弥

スローガン

窮理
～進むべき未来は私たちが創る～

基本理念

次世代に繋がる那珂大地を共に考えて挑戦しましょう

基本方針

A　那珂大地の環境を見つめ持続可能な事業構築
B　未来を創造する仲間づくり
C　攻めの組織運営と地域との連携・情報発信
D　音楽のまちの発信と青少年の育成
E　地域と連携した継続事業の実施
F　研修事業の計画と実施

主な事業

・1月：例会　定時総会、委員会　総務達成委員会
・2月：例会　明るい未来を夢見たい　第１部 ～ Ｊを語れ～、委員会：研修支援室
・3月：例会（６月に延期）　明るい未来を夢見たい 第２部 ～心を燃やせ～、委員会：研修支援室
・4月：例会　サステイナブル交流会 ～持続可能な未来を語り合おう～、委員会　会員拡大委員会
・5月：例会　ローカルインディケーターセミナー～ SDGSを知ろうから実践しよう!～、委員会　那珂大地SDGS推進委員会
・6月：例会（８月に変更）全国高校生アマチュアバンド選手権「TEENS ROCK IN HITACHINAKA2021」、委員会　ティーンズロック実行委員会
・7月：例会　なし
・8月：例会（中止）
・9月：例会　臨時総会、委員会：総務達成委員会
・10月：例会　那珂大地SDGSスタートアップ ～持続可能な地域（まち）創りを共に学ぼう～、委員会　那珂大地SDGS推進委員会
・11月：例会　卒業生担当例会、座学「想いを実現してみよう」、フットサル「卒業生からゴールを奪え」委員会　総務達成委員会
・12月度例会卒業生を送る会、委員会　総務達成委員会
・その他　14名の会員拡大

2022

第29代理事長

萩谷　樹莉

スローガン

Never stop challenging
～夢と笑顔溢れるまちへ～

基本理念

誰もが夢を描ける
笑顔溢れるまち
那珂大地の創造

基本方針

A　持続可能なまちの創造
B　新時代を切り開くグローバルな人財育成
C　夢と希望溢れる音楽のまちひたちなかの創出
D　30周年に向けた事業の実施
E　時代に合わせた組織運営と組織基盤の強化
F　那珂大地に必要とされる人財の発掘

主な事業

・1月度例会　2022年度 定時総会・新年式典／総務委員会
・2月度例会　会員拡大セミナー／総務委員会
・3月度例会　新・JCの魅力を発見しよう!そして、世界の扉は開かれている／三役
・4月度例会　那珂大地グローバル高校生コンテスト 第一部／グローバル人財育成委員会
・5月度例会　＃ネモフィラのまちアンケート ～ここから始まる二市一村の未来～／SDGSまちづくり委員会
・6月度例会　卒業生担当例会「家族交流会」／総務委員会
・7月度例会　那珂大地グローバル高校生コンテスト　第二部／グローバル人財育成委員会
・8月度例会　全国高校生アマチュアバンド選手権TEENS ROCK 2022～GP FINAL IN HITACHINAKA～／TEENS ROCK 2022実行委員会
【10地区11ヶ所にて初の地区大会実施　全国決勝大会をひたちなかにて開催】
日　　時：2022年8月9日(火)10:00～17:00
会　　場：国営ひたち海浜公園・水のステージ

・9月度例会　2022年度　臨時総会／総務委員会
・10月度例会　SDGSグルメフェスタ IN NAKADAICHI／SDGSまちづくり委員会
・11月度例会　クリスマスパーティ／総務委員会
・12月度例会　卒業生を送る会／総務委員会

・JCプログラム「JCI ACHIEVE」「JCI ADMIN」「JCI IMPACT」「VMV」「スピーチ」開催
・その他　12名の会員拡大

2023年度
一般社団法人ひたちなか青年会議所メンバー

理事長	藤田　康広
直前理事長	萩谷　樹莉
副理事長	桐原　拓也
専務理事	河野　正尭
公選理事	落合　恵一
公選理事	岡部　綾太
公選理事	ヒッチコック　弥生
理事	佐佐木　英行
監事	増田　直
監事	千葉　正明
監事	永井　大貴
事務局	佐藤　里江子

“組織運営事業担当委員会”

委員長	落合　恵一
副委員長	大野　隼人
副委員長	目黒　英昭
運営幹事	黒澤　昌靖
	高橋　雅慶
	堀川　哲
	関根　正太

“出向者連携事業担当委員会”

委員長	岡部　綾太
副委員長	佐佐木　英行
	萩谷　樹莉
	ヒッチコック　弥生
	石井　謙吾
	山形　美喜
	飯島　拓也
	小瀬　拓人
	菊地　一大

“次世代育成・政策事業担当委員会”

委員長	谷垣　慎二
副委員長	原口　和香奈
副委員長	橘内　隆行
運営幹事	小池　陽太
運営幹事	立石　勇人
	西野　治樹
	大内　一
	清水　宏行
	鈴木　和宏
	武藤　周多
	萩谷　賢人
	川嶋　啓太
	福田　浩平
	大坪　遼一

“30周年記念実行委員会”

実行委員長	藤田　康広
副実行委員長	桐原　拓也
副実行委員長	河野　正尭
副実行委員長	落合　恵一
副実行委員長	岡部　綾太
	ヒッチコック　弥生
	佐佐木　英行
	萩谷　樹莉
	大内　一
	谷垣　慎二
	山形　美喜
	萩谷　賢人
	小瀬　拓人
	崔　守美
	西野　治樹
	石井　謙吾
	小池　陽太
	川﨑　裕弥
	橘内　隆行
	清水　宏行
	高橋　雅慶
	堀川　哲
	福田　浩平
	武藤　周多
	飯島　拓也
	菊地　一大
	大坪　遼一
	原口　和香奈
	目黒　英昭
	大野　隼人
	黒澤　昌靖
	川嶋　啓太
	関根　正太
	立石　勇人
	大須賀　浩平

国際青年会議所
アジア太平洋開発協議会
カウンシラー　萩谷樹莉
カウンシラー特別補佐　岡部綾太

公益社団法人 日本青年会議所
国際グループ　グローバルピース委員会
委員長　萩谷樹莉
総括幹事　岡部綾太
委員　飯島拓也
委員　石井謙吾
委員　小瀬拓人
委員　河野 正尭
委員　菊地一大
委員　ヒッチコック弥生
委員　山形美喜

関東地区 茨城ブロック協議会
ブランディング戦略会議
副議長　落合恵一

特別会員紹介

西野　和行
清水　昇
宗形　欣司
森戸　健
黒沢　栄一
茅根　正美
砂押　明
阿部　雅一
清水　武彦
清水　静
関山日出男
安　富久
圷　敏夫
飯田　睦夫
市野沢　憲
二瓶　孝由
磯崎　勝雄
萩谷　寛
清水　審
住谷　力雄
深谷　堅久
山脇　修己
飛田　勇
根本　佳夫
井野　靖彦
関谷　忠正
雨宮　皇児
海野　昭彦
鈴木　一雄
関　一夫
稲田　武
海野　透
清水　湊
砂押　武昭
砂押　忠士
横山　貢
大橋　恒雄
小林　陽治
平野　潔
星　勇
雨宮　神
清水　辰之
西野　公丈
渡辺　健一
大貫　義男
佐藤　雅一
田中　健一
西野　知行
萩野谷　寿
安　雄三
伊藤　信介
池ノ辺一光
海野　洋一
川上　栄
佐々木繁子
西野　好海
福田　房義

坂田　実
西野　英二
渡辺　恵司
池内　久男
石崎　哲三
小野　修
河原井英二
小林　誠
小松　義昭
池辺　俊夫
杉浦　修
砂押二四男
清野　崇
藤田　一夫
渡邊　健二
白土　彰男
砂押　賢治
高島　恵一
西野　保夫
藤枝　功
増田　好男
横山　孝
宇津木　弘
大内　恒敏
川上　均
来栖　正史
佐々木昇蔵
清水　敏夫
西野　文章
安　登志夫
横須賀忠行
荒木田泰昭
小野瀬辰也
菅野　泰知
小池　明弘
関根　勝也
照沼　毅
皆川　幸敏
村辺　均
横須賀茂明
小山田三郎
川上　祐一
金子　貞夫
菅谷　広
横須賀健一
斉藤　明
宮崎　一雄
荒川　哲也
鯉沼　克政
小沼　有二
澤田　達男
田中　孝忠
樫村　昭一
橋本　猛
磯前　庄一
米桝　昭司
寺門　健司

吉原　明
古渡喜代二
櫻井兵五郎
栩木　直行
新関　賢治
根本惣一郎
峯岸　邦夫
大内　克栄
大森　弘
根本　洋厚
堀川　忠嗣
梅原　昭
高田憲一郎
寺門　攻
沼尻　巌
本多　利明
鹿志村吉信
大林　二郎
尾澤　清
岡部　政明
川上　睦夫
寺田　弘道
宮沢　好徳
磯崎久喜雄
江端　力三
川崎　操
小池　勝利
関山　興道
川上　一夫
増田　廣神
井上　敬一
井堀　政幸
鴨川　清
岸　秀倫
桜井　則雄
矢吹　武士
鴨川　雄一
藤咲　久光
八文字義男
湯浅　由三
大内　達夫
桜井　康順
津川　健明
大塚　直也
桜井　進
七役　裕三
吉村　茂則
安達　良司
照沼　洋一
伊藤　茂一
大内　孫彰
川崎喜久一
国府田祐一
桜井　幸治
菅原　実
古橋　治己

池ノ辺　修
枝川　重樹
小川　了
大内喜一郎
川崎　孝一
川崎　収厚
木内　健汰
清水　実
薄井　克泰
梅原　功好
御廐　清忠
大谷　憲治
窪田　俊朗
篠崎　猛
手塚　忠延
藤田　富夫
三ツ井英彦
刈部　賢司
佐川　正夫
塙　勉
網野　英雄
今井　宏人
梅原　正徳
鬼沢　一正
黒沢　敏
黒澤　政樹
鯉沼　勝久
住谷まさ美
豊田　一美
根本　栄
真子　敏幸
山崎　茂
磯崎　正幸
金澤　裕治
黒沢　公一
砂押　久夫
大内　勝博
大山　真生
唐澤　文男
香西　輝彦
小田部　充
鴨原　育子
白土　克則
永井　治
橋本　透
藤田　秀夫
伊藤　正志
大谷　隆
大貫　博光
清水　宣行
飛田　高秀
野部　浩之
橋本　直行
益子　徳
谷田部　浩
湯浅　清二
綿引　修

薄井　豊
坂下　英雄
関谷　浩一
西野　俊郎
大内　健児
小川　洋一
川島　広行
菊地　靖
坂場　誠
清水　俊智
萩谷　潤子
藤咲登美枝
大内　真一
黒沢　広忠
砂押　勇人
綿引　薫
小室　光由
海野　泰司
菊地　雅人
安達　裕美
小泉　鋭次
鈴木　聡
橋本　英明
五十嵐則夫
新井　俊行
加藤　仁郎
西野　真幸
岡部　友洋
関山　邦久
鈴木　太郎
小澤　一源
鴨志田　聡
木名瀬貴章
砂押　完児
飛田　吉信
大竹　康司
黒沢　淳
鈴木　忠夫
八重樫賢治
鈴木　広宣
杉山　恭平
成田　尚美
薄井　宏安
石川　誠浩
清水　利春
高倉　美佳
池ノ辺　猛
櫻井　貴史
尾澤　賢一
野別　英明
安　雄一朗
大谷　永浩
中川　周
大谷　明
井上　真治
黒沢　成光
鈴木　宏康

平野　方樹
磯崎　泰宏
小宅　清史
川崎　貴裕
磯崎　達也
清水　芳洋
照沼　大輔
大野　剛
小川　武志
大曽根一毅
瀬谷　雄一
森澤　吉大
日詰　治
岡崎　伸一
中崎　啓
穂積　陽一
小泉　大輔
所　茂樹
寺門　瑠美
関山　洋介
鈴木　聡史
吉川　大介
小林　浩之
深谷　幸生
橋本　拓也
砂押　知倫
増田　直
石川　浩通
細谷　潤一
櫻井　達也
照沼　正輝
佐久間久理子
舩戸　将太
小川　和敏
川崎　祐介
小沼　道広
清水　康平
河野　満
寺門　香澄
黒沢　一生
藤枝　邦之
清水　健司
永野　宏樹
永井　大貴
根本　忠
千葉　正明
中島　一紀
勢司　誠
鈴木　英介
磯崎　充宏
関口　豪之
茅根　俊之
黒澤　崇史

ひたちなか青年会議所 例会 JCI

御神燈
御神燈

Thank you for everything
this past year.

JCI TEENS ROCK
TEENS
TEENS

JCI
ひたちなか青年
一般社団法人ひたちなか青年会議所

Never Stop Challenging!

ROCK IN JAPAN FES. 2002
ROCK IN JAPAN FES. 2003

ROCK IN JAPAN FES.2019

TEENS ROCK

#いまできること
#献血に行こう

JCカップ地区予選　エリアA
STAFF

TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2019

協賛企業一覧

有限会社安物産

浄光寺

株式会社飛電社

イガラシ綜業株式会社

株式会社春日ホテル

株式会社アサイン

株式会社長寿荘

セキヤ石油株式会社

砂押木材株式会社

株式会社照沼商事

株式会社三角屋商店

新井接骨院

(株)スズキ繊維

(株)きくち

ベニヤ商事株式会社

(株)増田塗装店

株式会社ヨシカワ

セキヤマ株式会社

東関東警備保障株式会社

勝田あすなろ保育園

高倉建設工業株式会社

藤田秀夫

清心グループ

(株)オセヤ

ひたちなかJCシニアクラブ

協賛企業一覧

(株)照沼商事グループ

株式会社オセヤ

IGA
イガラシ綜業株式会社

東関東警備保障株式会社